

# ソファおうこく

杉本 憲一



ここは じめんが ソファでできた ソファおうこく。  
とびはねたり ころがりたり ねそべったり。  
ころんでも おっこちても  
フワフワなソファでは けがをしません。



すわると すくにねむくなり  
ウトウト、ウトウト。  
だから みんな ところがやさしく  
ゆったりしています。

そんなあるひ おうさまのもとへ  
いつつのメールがきました。  
「おうさまへ  
パパとママが いろんなところで ねてしまい  
いつもハラハラです。  
どうしたら いっしょに ねられますか？」



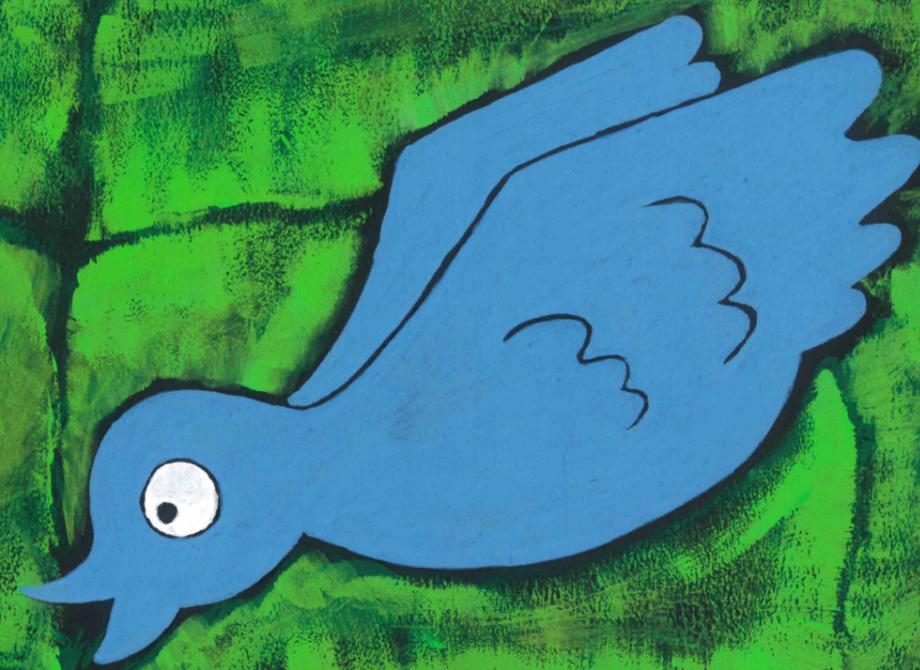
おうさまへ

パパとママが いろんなところで  
ねてしまい いつもバラバラです。  
どうしたら いっしょに  
ねられますか？

おうさまは こまりました。  
くにを きもちいいソファにしたのに  
そんななやみがあるとは…



そこで おうさまは  
そらをとぶトリに たずねました。  
「このおうこくの ソファはどうかね？」  
すると トリは いいました。  
「ぼくは いつも そらを とんでるから  
ソファのよさはわからない」





「でも ソファでつくったスで  
ねるときは かくべつさ」

なるほど、なるほど



つぎに おうさまは サルに はなしをききました。  
「ウキキ、ウキキ いつもキを とびまわってるから  
ソファのよさはわからない」

「でも キのしたのソファで  
ねるときは かくべつだキキ」

なるほど、なるほど





つぎに おうさまは うみをおよぐ  
オットセイに はなしをききました。  
「オイラは うみでさかなをとったり  
およいだりするから ソファのよさはわからない」

「でも りくにあがって  
ねるときソファは かくべつだよ」

なるほど、なるほど





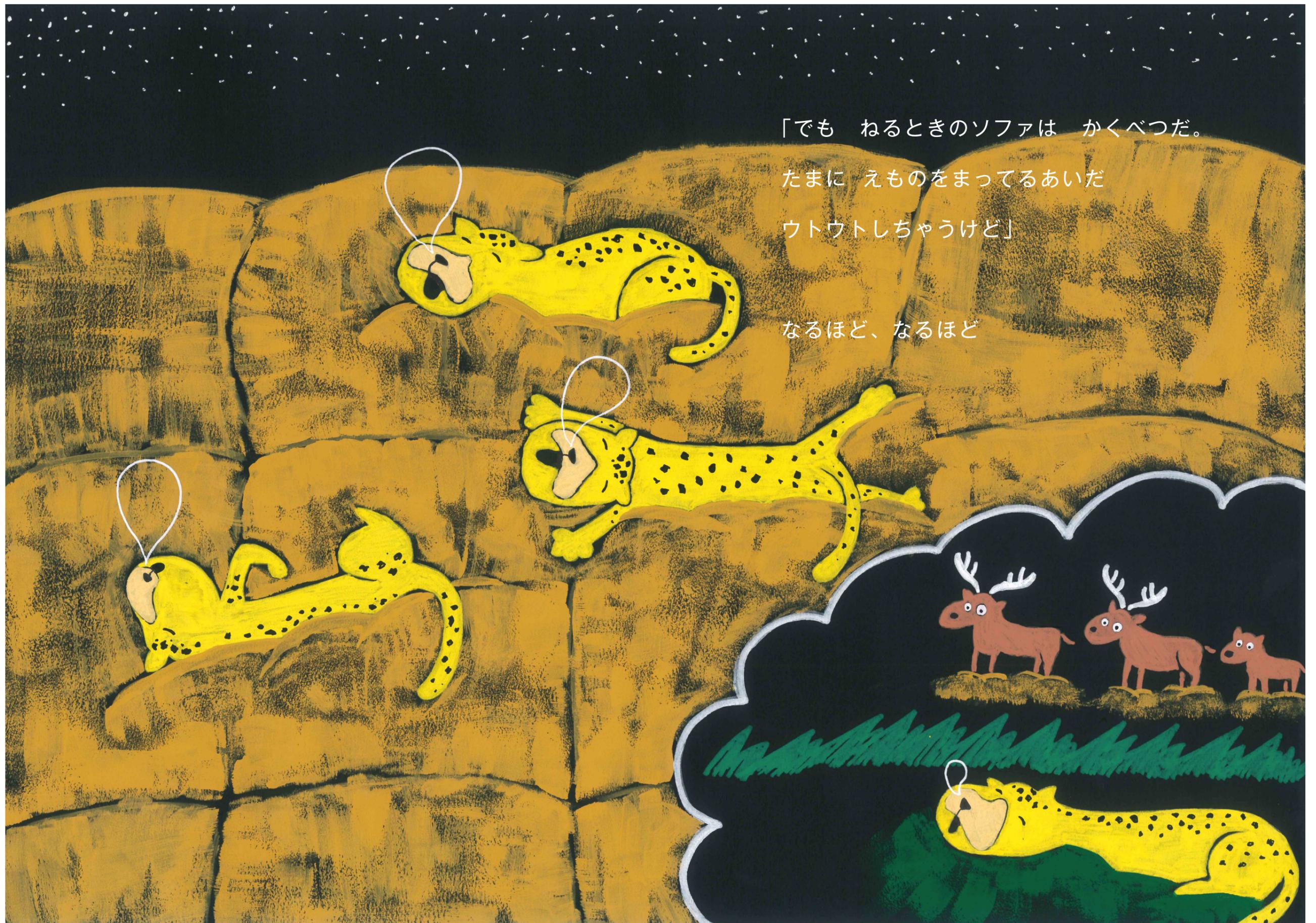
つぎに おうさまは  
チーターに はなしをききました。  
「ソファのじめんは フワフワで はしりづらい。  
おかげで えものを のがしてしまう。  
もっとかたいじめんなら はやくはしれるのに」

「でも ねるときのソファは かくべつだ。

たまに えものをまってるあいだ

ウトウトしちゃうけど」

なるほど、なるほど



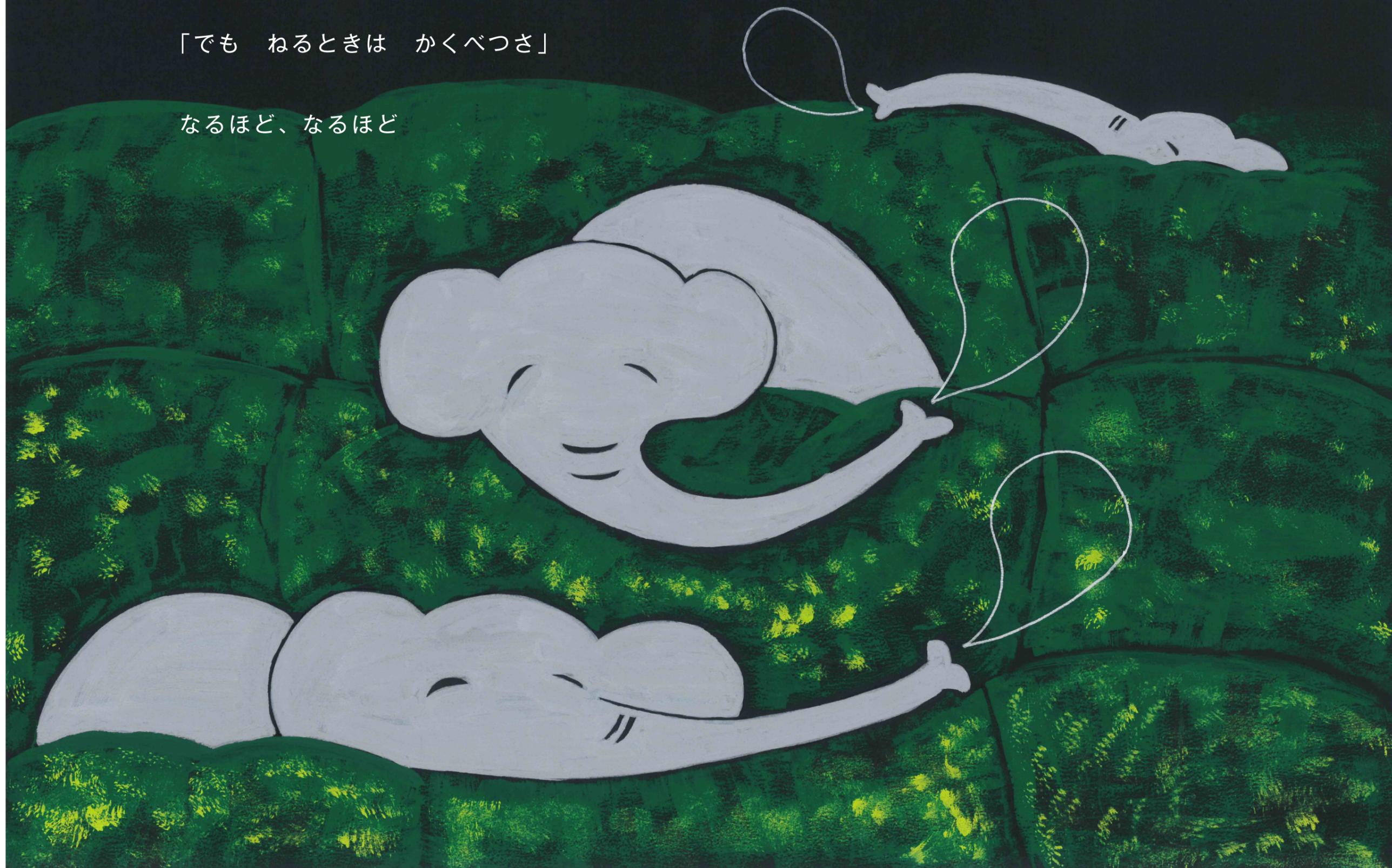
つぎに おうさまは  
ゾウに はなしをききました。  
「オレはおもいから ソファにうもれて  
あるきづらい。  
もっと かたいじめんなら たすかるんだが。  
はなが ながくて よかったよ」





「でも ねるときは かくべつさ」

なるほど、なるほど



さいごに おうさまは まちにいた  
オトコにはなしをききました。

「ソファはさいこうです！

いつもきもちよく、ゆったりすごしています。  
もうしぶんありません」



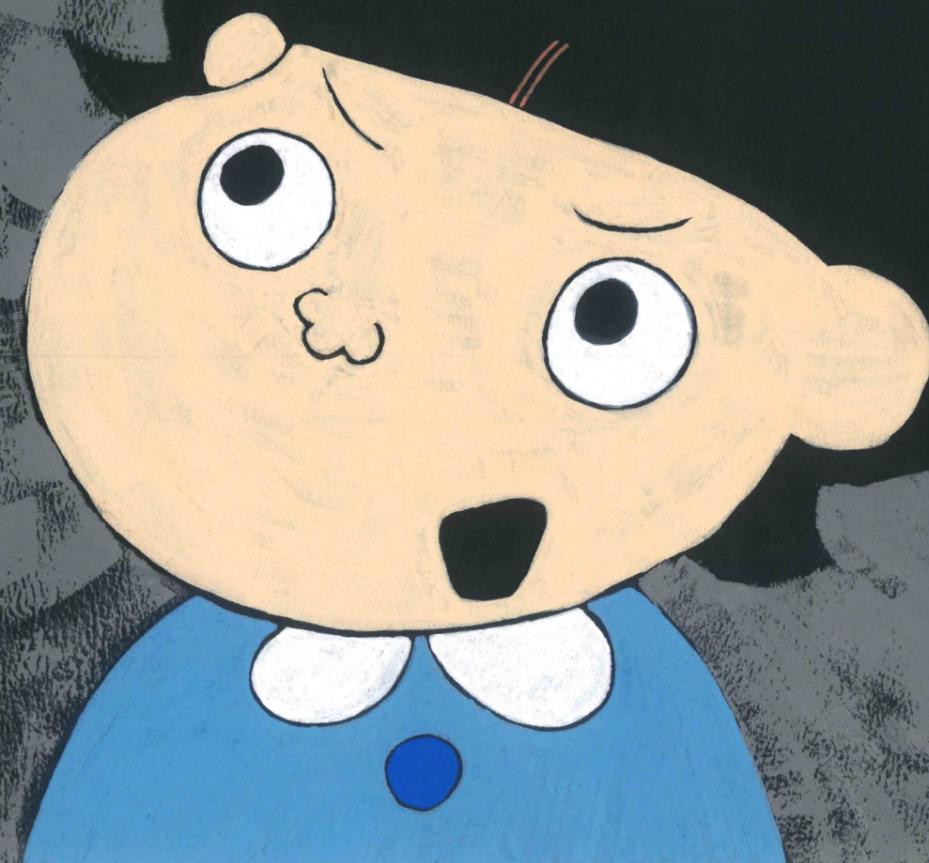
そのとき こどもがやってきて  
おうさまにいいました。

「でもね、パパはどこでも  
ねちゃうんだ。

きのうだって げんかんのそとで  
ねちゃった。

パパが かえってこなくて  
さみしかったよ」

なるほど、なるほど





おうさまは ついにきづきました。

ソファは おおきさじゃない  
”とくべつなばしょ” なんだ。



そして じめんいっぱいソファを  
こうじて ふつうのじめんにもどしました。  
そのかわり ちいさくかいぞうしたソファを  
みんなにプレゼントしたのです。  
もちろん どうぶつたちの  
ねどこはソファのまま。

すると あちこちのいえから  
いままでいじょうに  
わらいごえや はなしごえが  
きこえてきました。



おうさまも かぞくといっしょに  
ソファにこしかけ  
まんめんのえみをうかべました。



**NOYES**  
SOFA 100%

2020年2月22日発行

著者 杉本 憲一

発行者 株式会社 NOYES

第8回 NOYES 絵本コンクール 大賞作品